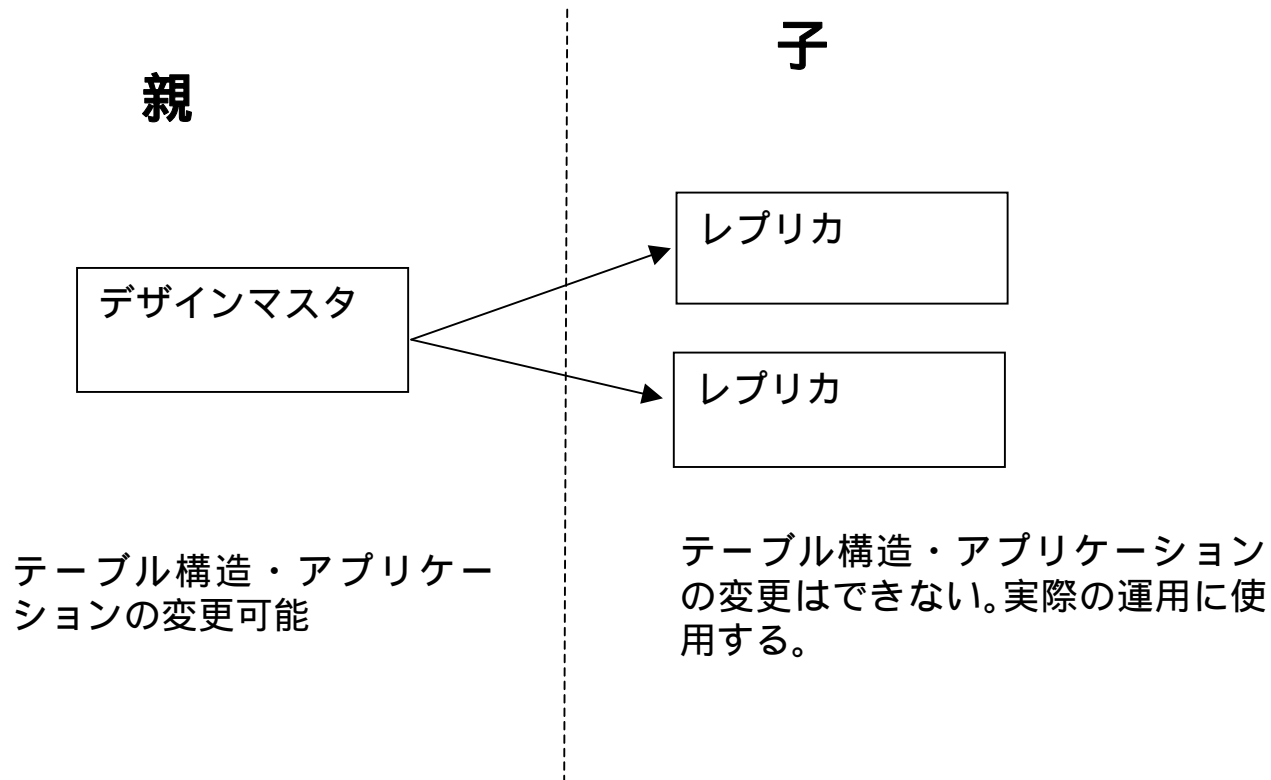


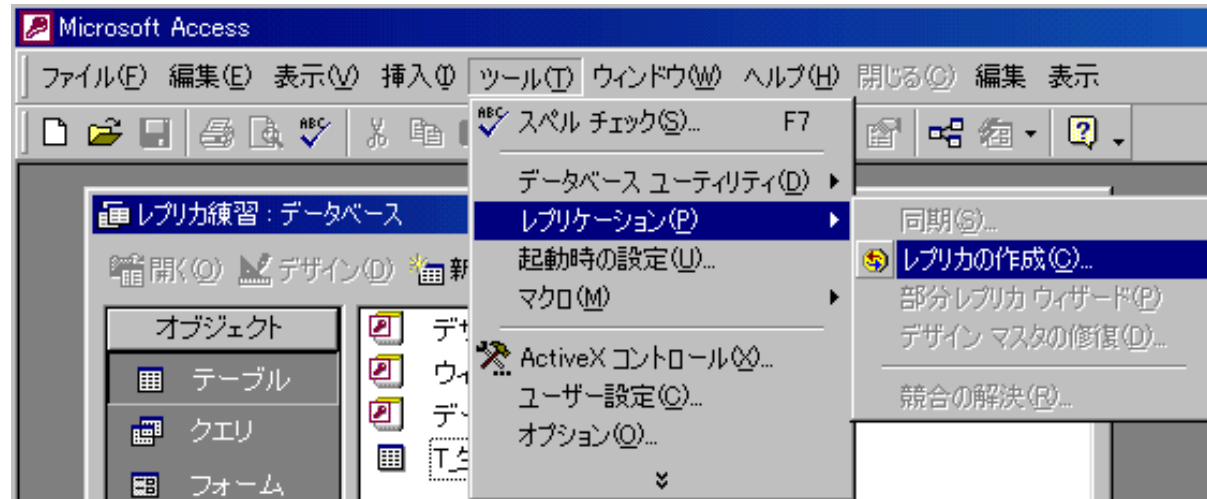
データベースの運用

データベースのレプリカ作成

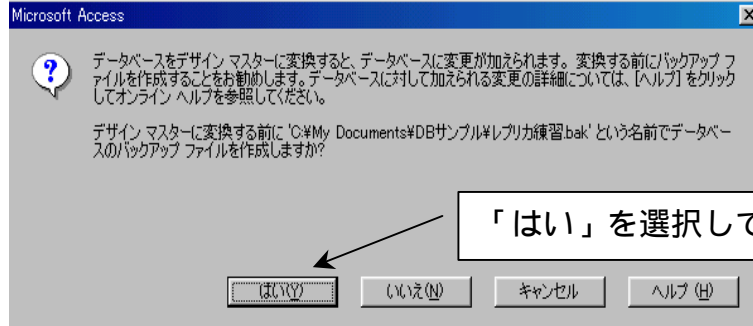


レプリカを作成する

メニューバーから「ツール」「レプリケーション」「レプリカの作成」と選択する。



レプリカを作成すると「標準のデータベース」に戻ることができなくなるので、レプリカ作成時にバックアップを作成しておいたほうがよい。



「はい」を選択してバックアップを作成

作成された「デザインマスタ」と「レプリカ」

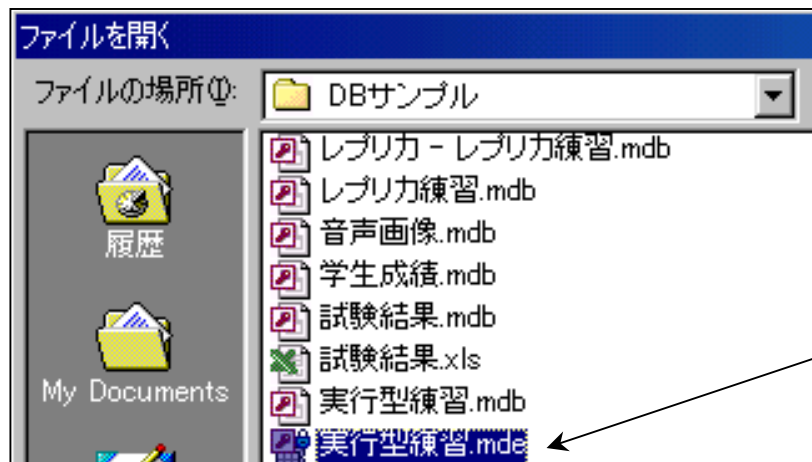
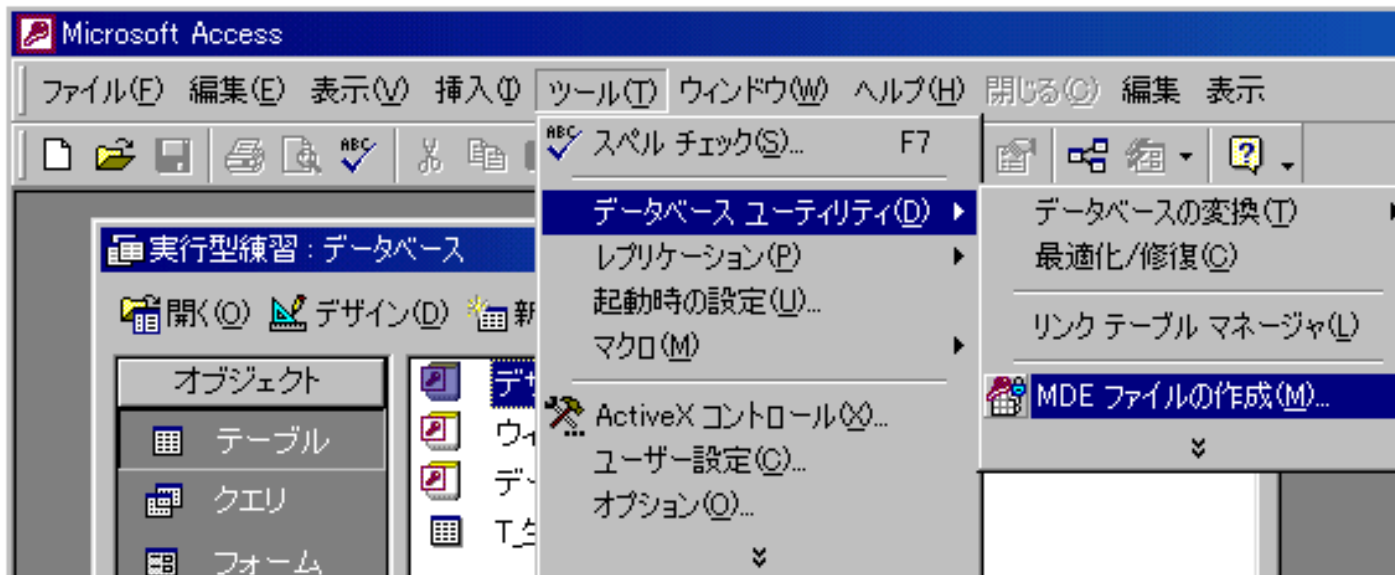
デザインマスタは、原本として取っておく。このデザインマスタから複数のレプリカを作成し、作成されたレプリカを使用して実際の運用を行う。



レプリカ

デザインマスタ

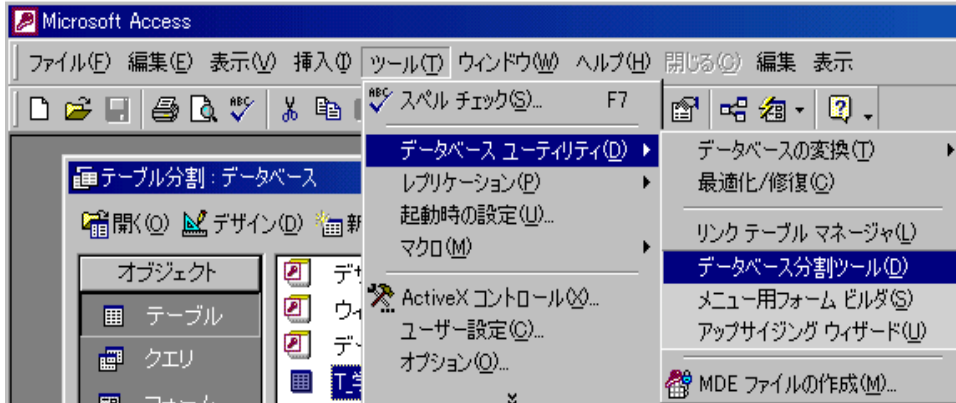
実行形式のMDEファイルの作成



通常のデータベース（MDBファイル）を、実行型データベース（MDEファイル）にすることにより、フォームやレポートのデザインが変更できないようにする。フォームレポートのデザインを変更するには、基となっている通常のデータベース（MDBファイル）に変更を加え、再度実行型データベースに変更し、使用する。

作成された実行型（MDE）データベース

テーブルとアプリケーションを分け、テーブルをサーバに置き共有

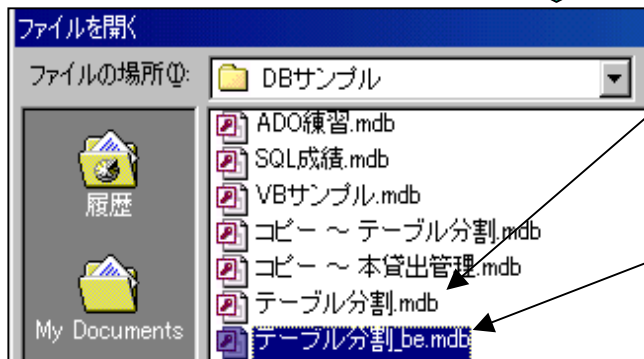


データベース分割ウィザードを使用して、テーブル部分とその他のアプリケーション部分に分割する。

命令メニューバーから「ツール」「データベースユーティリティ」「データベース分割ツール」と選択していく。

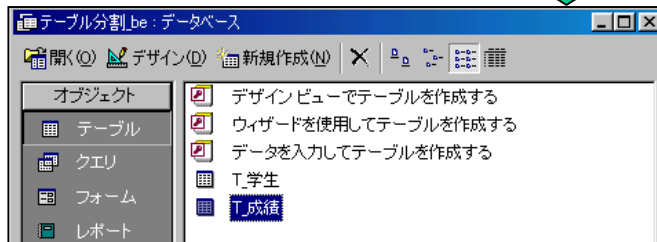
ウィザードが働き、テーブル部分だけが分割された新しいデータベース「テーブル分割_be.mdb」が作成される。

この「テーブル分割_be.mdb」は、「テーブル分割.mdb」データベースのテーブルだけのデータベースである。この「テーブル分割_be.mdb」のテーブルは、「テーブル分割.mdb」の各アプリケーションと連結しているため、サーバ側に「テーブル分割_be.mdb」置き、クライアント側に「テーブル分割.mdb」を置けば、テーブルのデータを共有できる。

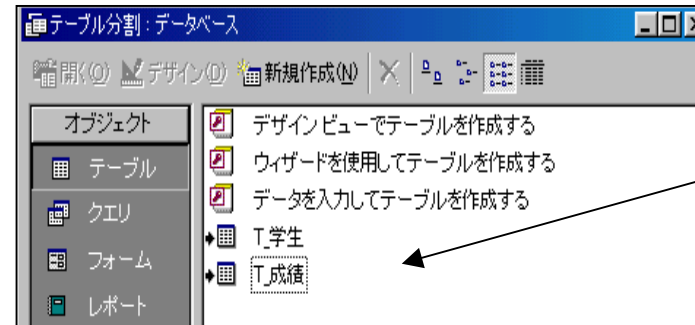


基の「テーブル分割.mdb」

作成された「テーブル分割_be.mdb」



作成されたテーブルのみのデータベース



テーブルは連結クエリ・フォームは基のままである